
最強ニート伝説

空々

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

最強二ート伝説

【著者名】

空々

【Zコード】

Z0168Z

【あらすじ】

生きていたら、誰でも成り得る可能性がある。

それが二ート。

アルバイトも就職活動も全部、ぶん投げ、自分のライフスタイルを確立する。

それが二ート。

ネットを愛し、ゲームを愛し、一次元を愛す。

それが二ート。

世間を偏見な目で見る。

それが二ート。

人間恐怖症、対人恐怖症、コミュ章が持ち。
それが二ート。

そしてそれが僕。
スペックは二十歳。
何もしたくない。
何もしない。
働いた負け。
生活保護が勝ち組。
FX勝ちたい組。
遊んで暮らしたい。
早く童貞を捨てたい。
でも風俗は嫌。
それが僕。

そんなそんな下らない物語の主役が僕。
僕が主人公。
リアルでは絶対に主人公に成らない僕が主人公。

第1話 スペック。

僕の名前は雨風雲春。 あめかぜ くもはる

何処のアニメだ！

どんな名前だ！

集賢閣書

完全に名前負けをしている

でも愛してもいい!

母の心事は食に毎日何事かある。母の心事は食に毎日何事かある。

僕に、
でも父親は嫌い。

と、
土下座する。

なんだあの土下座！？

誠意も何も無い。

だから社畜は嫌いだ。

のはガキっぽい。

もう一十歳なんだから、ノラリクラリ生きるんが良いに決まってる。

親が生きている間は親を使つ。

これが僕の座右の銘だ。

それで、今日も畳に起きたし、下に下りるか。

僕はボサボサの髪を搔きながら、一階のリビングに向かった。
リビングのテーブルにはラップされたカレーライスが置いてある。

ちつ！

昨日の残りかよ！

手抜きだなああのババア。

けど、僕は食べるモノを探すのも、作るのも面倒なのでカレーライスをパク付いた。

「中々、うまいなあ。やっぱり一曰、置いたカレー最強だな」

さつきとは打つて変わつて、違つ事をほざく僕。

そんな自分が大好きな僕。

カレーライスを食べ終わるとテレビを見る。

これは日課だ。

いいともは僕のサイクルを調整するのに一役かつている。

あ～タモさんのサングラスの奥、こえ。

そんなどつでも良い事を呟き。
テレビを消す。

別段、いいともなんてクソだ。
興味はない。

佐々木が見たいだけだ。あとはどうでも良い。
特にお笑い芸人なんて、意味が無いと思つ。
テレビ局に抗議したいくらいだ。

まあ風呂に入ろう。

僕は童貞だけど、不潔は嫌だ。
お風呂は好きな二ートなのだ。

第一話に続く。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0168z/>

最強ニート伝説

2011年11月30日21時56分発行